

取組例) A校

平成27年度全国学力・学習状況調査結果分析について

1 誤答が多かったもの

○国語 A

- ・シャワーをあびる（無解答3名）
- ・ぼくの妹の誕生日は、五月二日だ。〔主語を選ぶ〕
- ・コラムを読み、筆者が、自分の思いや考えを根拠付けるために引用した最初の5文字を書く。（全員×）

○国語 B

- ・引用、条件の付いた書き方、理由の書き方

○算数 A

- ・鈍角の大きさ（誤答2名）

○算数 B

- ・平行四辺形のかき方と特徴の関係
- ・地図からみつける図形（平行四辺形）の特徴とその説明
- ・ソフトボール投げの巻き尺をもつ長さ（誤答5名）
- ・記述問題

2 結果を踏まえた研修

- ①H27年度の誤答が多かった問題を実際に解く。
- ②H26年度授業アイデア例を読む。
- ③学校図書館活用教育（情報活用能力年間指導計画の見直し←新編国語の教科書との整合性）
- ④共通指導事項を確認

3 共通指導事項の確認

○日常の指導

- ①文を書く時は、何について書くか目的を明確にし、書く時の条件を落とさないで書くこと。
（例）3つのことばを使って、図の記号を使って、○○する時に大切なことを取り上げて、工夫とその理由もあげて・・・
→・目的や意図に応じた文章を書く。（読み手に伝えたい内容を詳しく書く。）
・取材する時は、事実だけでなく、相手から受ける印象や自分が感じたこと（感想や意見）もメモしておく有効。メモを用いて記事を書く際は、取材内容を引用して書くことや、それらを適切な分量でまとめてかくようにする。
- ②問題文を読む時は、題意（何を聞いているか）をつかむ。
- ③答えの確かめをする時は、思い込みはないか、問題文をもう一度読み返す。
- ④主語、述語を明確にし、対応した文を書く。

○重点指導内容

① 4年算数：図形の特徴と作図の関係、角の大きさ、見積もり

- ・図形の性質を確実に把握するために、既習事項の図形でも、図形単元が出た時にもう一度復習するなど、忘れないようにする。
- ・角度を、 90° 、 180° 、 270° 、 360° を基準に見当を付けることができるようにすることが大切。特に、 270° は、他に比べて実感する機会が少ないため、学習を積み重ねることが大切。
- ・作図の指導は、手順を形式的に指導するのではなく、図形の特徴と対応させて理解できるようにすることが大切。

② 3年算数：小数の加減と確かめの仕方

- ・小数の計算は毎年出題されている。小数の計算の仕方の単元の時に、既習内容と比べて扱う。(例えば、小数のかけ算の仕方を考える時に、加減の計算の仕方と違うことに気づかせる。など)
- ・同じような単元のときに、家庭学習などで既習事項も復習する。

③ 漢字（作文の時の誤字脱字も多い）

- 国語辞典、漢字辞典の利用を習慣づける。

④ 算数では説明する力に加え、説明を書く力の指導。

- 説明しきる力をつける。モデルを示す。教師が説明を補わない。

⑤ 情報活用スキルを意識した指導（引用、著作権など）

4 その他

○全国学力調査の出題は、問題数は少ないが資料内容が多い。

- ・決められた時間の中で、問題を読み、解くスピードが必要
(例) 市販テストは20分、あかねこスキルは2分
- ・複数の資料から情報を取り出して解決する力が必要

○全国学力調査の出題に慣れるために

- ・算数のチャレンジコーナーやおもしろ問題など時間配当外の内容も扱う必要がある。
- ・3年生や4年生の内容も題される。漢字や算数の復習をする必要がある。(教科書やドリルの復習の内容は飛ばさずにやる)